

広島市スポーツ振興計画（仮称）
～ “新しい「スポーツ王国広島」” を目指して～
【 骨 子 案 】

目 次

- 第 1 章 計画策定の基本的な考え方**
 - 1 計画の趣旨
 - 2 計画の位置づけ
 - 3 計画期間

- 第 2 章 計画策定の背景**
 - 1 社会環境の変化とスポーツ
 - 2 広島市のスポーツの現状
 - 3 広島市のスポーツ振興における課題

- 第 3 章 基本理念とその実現に向けて**
 - 1 基本理念
 - 2 基本方針及び目標年度の数値目標

- 第 4 章 推進施策**

- 第 5 章 計画の推進**

第1章 計画策定の基本的な考え方

1 計画の趣旨

多様化する市民のニーズを把握し、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進や競技力の向上、国際的・全国的なスポーツ大会等の開催・誘致などに取り組む必要があります。

これらの取組をより一層効果的・効率的に推進するため、広島市のスポーツ振興施策を総合的かつ体系的に定める広島市スポーツ振興計画（仮称）を策定します。

2 計画の位置づけ

- (1) スポーツ振興法に基づく広島市のスポーツ振興に関する計画です。
- (2) 第5次広島市基本計画の部門計画として位置づけます。

3 計画期間

目標年度は、第5次広島市基本計画と合わせ、平成32年度(2020年度)とし、計画期間は、平成23年度(2011年度)から平成32年度(2020年度)までの10年間です。

なお、中間年には進捗状況を踏まえ計画の見直しを行います。

第2章 計画策定の背景

1 社会環境の変化とスポーツ

(1) 少子化・高齢化の進展

- 少子化の進展が学校運動部活動への参加生徒数の減少をもたらすなど、競技力の低下が懸念されており、学校やスポーツ関係団体等が連携し、子どもの体力・運動能力の向上に取り組むことが求められています。
- 高齢化の進展により、高齢者がスポーツを通じて健康を維持し、生き生きとしたセカンドライフを送ることへの支援が求められています。

(2) 価値観の多様化

価値観が多様化し、生きがいや様々な社会参加を求める市民が増えている中、スポーツを通じて爽快感や楽しさを味わうこと、健康の保持増進、さらには社会貢献など市民が様々な形でスポーツにかかわる環境を整えることが求められています。

(3) 地域の連帯感の希薄化

都市化の進展などにより、地域におけるコミュニケーションが減少し、地域の連帯感が希薄化している中、日頃行うスポーツや町内運動会等地域スポーツ活動への参加など様々な場面で地域の幅広い人たちが気軽に参加し、互いに心を通わすことのできる機会を提供することが求められています。

(4) 国際化の進展

行政や民間などの団体レベルだけでなく、個人レベルでも多様な国際交流が進んでいる中、スポーツを通じて、国際的な友好・親善、さらには世界平和に貢献することが期待されています。

2 広島市のスポーツの現状

(1) 市民のスポーツ実施状況

- スポーツをしたいと思っているが、実際にするところまでいっていない人が多い状況にあり、スポーツをしていない理由は多岐にわたっています。
- 多くの市民が健康づくりや体力づくりに関心を持っています。
- 誰もが気軽に運動・スポーツに親しめる環境、スポーツを通じて人とふれあえる機会や場が求められています。

(2) スポーツ施設

- 区スポーツセンターが市民にとって最も身近な地域スポーツの活動拠点となっています。
- より一層利用者の視点に立った施設運営に努めることが求められています。

(3) 運動・スポーツクラブ

- 地域で気軽に参加できる運動・スポーツクラブが求められています。
- 身近なスポーツクラブの一つに小学校区単位で組織された学区体育協会があるが、多くの人が参加しているとは言えない状況となっています。

(4) スポーツ活動にかかわる人材

- 体育指導委員に関する情報の不足などにより市民が気軽に体育指導委員を活用できていない状況であり、また、活動状況に不均衡が生じています。
- スポーツボランティアに対する市民の意識は高いが、実際に活動するまでに至っていない状況です。

(5) 子どもの体力・運動能力

児童生徒の運動・スポーツへの関心度は高いが、新体力テストの結果を見ると、小学生及び中学生の体力が全国平均レベルを下回っています。

(6) スポーツの競技力

- 国民体育大会の広島県の総合順位は平成8年(1996年)以後、8位以内の目標を達成できておらず、特に少年の部の低迷が続いています。
- 児童生徒の上手になりたいという意識は高いです。

(7) トップレベルのスポーツ

- トップレベルのスポーツを観戦することは、市民のスポーツに対する関心や興味を高め、多くの市民がスポーツをする動機付けになるとともに、人が集まり、動くことで経済への波及効果やまちの賑わいの創出が期待できます。
- 市民はスポーツ競技の国際大会に高い関心を持っています。
- 多くの市民がトップレベルのスポーツの振興を大切と考えているが、トップス広島の知名度や注目度は全般的に高いとは言えません。観戦者数についても、プロスポーツチーム以外は、概ね横ばい傾向となっています。

3 広島市のスポーツ振興における課題

(1) 誰もが気軽に参加できるスポーツの振興

- 子どもから高齢者、障害者など幅広い市民を対象とした気軽にスポーツに親しむための動機付けが必要です。

- 個人の健康や体力、ニーズに応じてスポーツを誰もが楽しく続けることのできる環境づくりが必要です。
- 子どもが積極的に運動・スポーツに親しむ習慣や意欲を培うことにより、子どもの体力や運動能力等の向上を図る必要があります。
- 地域コミュニティの活性化に向けて、人と人がふれあい、絆を深めることができるよう、様々なスポーツの機会を創出する必要があります。

(2) ジュニア層を中心とした競技力の向上

- スポーツ人口のすそ野の拡大や競技力の底上げを図り、全国規模の大会で活躍するジュニア選手を育成する必要があります。

(3) トップレベルのスポーツの振興

- トップレベルのスポーツチームがさらに活躍できるよう、チーム活動を支援する必要があります。
- 国際的・全国的なスポーツ大会等においてトップレベル選手のハイレベルなプレーを観たり、感じたりできる機会を創出するとともに、広島市を舞台に活躍するトップレベルのスポーツチームを市民と一緒に盛り上げていく必要があります。

第3章 基本理念とその実現に向けて

1 基本理念

新しい「スポーツ王国広島」を目指して
～スポーツが好き 仲間が好き 広島が好き～

これまで、様々なスポーツ振興施策の推進を図ってきた中、「スポーツ王国広島」は競技力の向上が達成された姿としてイメージされてきました。

今日の広島市のスポーツの現状や課題を踏まえ、今後はスポーツ振興を担う組織間で連携・協働し、施策の一体的な展開に取り組む必要があります。

こうした点を主眼に置き、本計画では、「スポーツ・フォア・オール」の理念にのっとり、子どもから高齢者、障害者や健常者、初心者からトップアスリートまですべての市民が様々なスポーツにかかわり、生きがいを感じることができる明るく活気あふれる平和なまちづくりに取り組むことにより、「スポーツが好き、仲間が好き、広島が好き」な市民の笑顔であふれる新しい「スポーツ王国広島」を目指します。

2 基本方針及び目標年度の数値目標

(1) 地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の振興

市民が気軽にスポーツに親しむ機会の提供と環境づくり、健康づくり・体力づくりや地域コミュニティの活性化に向けたスポーツの振興などにより、地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の振興を図ります。

| | |
|------|---------------------------------------|
| 数値目標 | 週1回以上スポーツをする市民（20歳以上）の割合を63.0%以上にします。 |
|------|---------------------------------------|

(2) 学校における体育・スポーツの充実

学校の体育授業や運動部活動の充実、スポーツ環境の整備などにより、学校における体育・スポーツの充実を図ります。

| | |
|------|---|
| 数値目標 | 新体力テストの結果で広島市の平均値が全国の平均値以上となっている項目数の割合を50.0%以上にします。 |
|------|---|

(3) 競技力の向上

ジュニア選手の育成・強化や優秀な指導者の養成・確保などにより、競技力の向上を図ります。

| | |
|------|---|
| 数値目標 | 国民体育大会に出場する広島県選手に占める広島市選手の割合を50.0%以上にします。 |
|------|---|

(4) まちの活力創出に向けたスポーツの振興

国際的・全国的なスポーツ大会等の開催・誘致やトップス広島等との連携によるプロスポーツ・企業スポーツ等の振興などにより、まちの活力創出に向けたスポーツの振興を図ります。

| | |
|------|---|
| 数値目標 | トップス広島に加盟するチームの試合を年1回以上会場で観戦した市民（20歳以上）の割合を43.2%以上にします。 |
|------|---|

第4章 推進施策

1 地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の振興

(1) 市民が気軽にスポーツに親しむ機会の提供と環境づくり

- ア 総合型地域スポーツクラブの設立支援及び運営協力
- イ スポーツ施設やスポーツイベント等に関する情報提供
- ウ スポーツ施設の利用促進
- エ スポーツセンター等でのスポーツ教室等の開催
- オ 各種クラブやサークル、指導者やボランティアなどの紹介・あっせん
- カ 身近にある海や川、山を利用したアウトドアのスポーツ・レクリエーションイベントの実施
- キ 広島でのスポーツに関する資料等の展示会の企画・開催

(2) 健康づくり・体力づくりに向けたスポーツの振興

- ア 40代からの健康づくりや高齢者の健康づくりのための事業の実施
- イ 健康づくり・体力づくりに関するスポーツセンターの相談機能の強化

(3) 障害者のスポーツ・レクリエーション活動の促進

- ア 障害者・健常者が共に楽しめる行事の開催
- イ 障害者スポーツの普及・振興

(4) 地域における子どものスポーツ活動の促進

- ア 地域スポーツ振興担当コーディネーターによる子ども会や児童館の事業への支援

イ 広島市小学生体育連盟の活動への支援

ウ スポーツ少年団の活動促進

(5) 地域コミュニティの活性化や国際交流の推進に向けたスポーツの振興

ア 地域スポーツ振興担当コーディネーター等によるスポーツセンターを拠点とした地域コミュニティの活性化

イ スポーツセンターの特色を生かした事業展開

ウ 市民が主体となって行うスポーツイベントや市民団体と連携したイベントの実施

エ スポーツを通じた国際交流事業の推進

(6) スポーツ・レクリエーション活動を支える組織や人材の育成

ア 学区体育協会の活性化

イ 体育指導委員活動の活性化

ウ スポーツボランティアの登録・派遣

エ 地域スポーツ活動の功労・功績者の顕彰

(7) スポーツ・レクリエーション活動の場の整備・充実

ア スポーツ施設の整備・充実

イ 学校体育施設の開放

ウ 環境保全の視点に立ったスポーツ施設の運営や管理方法の見直し

エ 未利用地等のスポーツ活動の場としての活用の検討

2 学校における体育・スポーツの充実

(1) 体力向上等に向けた子どもの運動・スポーツ活動の促進

ア 子どもの体力向上への取組

イ 運動部活動の活性化

ウ トップス広島に加盟している各クラブチームとの連携・協力によるスポーツ指導

エ 異校種間によるスポーツ交流の実施

オ 「広島市立学校スポーツ活動支援人材バンク」の充実

(2) 学校体育施設の整備・充実

ア 武道場の整備

イ 校庭の芝生化

3 競技力の向上

(1) ジュニア選手の育成・強化

ア ジュニア選手の育成・強化

イ 成長期のジュニア選手のサポート

(2) 選手強化に向けたサポート体制の構築

ア 指導者の養成・確保

イ 競技団体の練習場所の確保

4 まちの活力創出に向けたスポーツの振興

(1) 国際的・全国的なスポーツ大会等の開催・誘致等

- ア 国際的・全国的なスポーツ大会の誘致・開催
- イ トップアスリートによる強化合宿の誘致と合宿中における市民との交流事業の実施
- ウ 広島開催が定着している国際大会、全国大会に対する支援
- エ 市民レベルの全国的なスポーツ大会等の開催・誘致
- オ オリンピックのあり方を含めたスポーツと平和に関する調査・研究
- カ 環境保全の視点に立ったスポーツ大会等の運営

(2) トップス広島等との連携によるプロスポーツ・企業スポーツ等の振興

- ア 地域スポーツ振興担当コーディネーターによるトップス広島の応援気運の醸成のためのスポーツセンターを拠点としたトップスポーツ応援事業の実施
- イ 地元スポーツチーム、地元輩出選手の試合開催や成績等についての情報提供
- ウ 賑わいの創出に向けた地元スポーツチームや観光部局等との連携事業の実施
- エ トップス広島に加盟している各クラブチームと一体的に取り組むスポーツ教室等の実施
- オ プロスポーツチームや企業スポーツチーム等が実施するイベントへの支援
- カ 民間主体のサッカー専用スタジアム整備の支援

第5章 計画の推進

1 スポーツ振興を担う組織間の連携・協働による施策の一体的な展開

スポーツ振興に関する取組は、これまで地域スポーツは学区体育協会や体育指導委員が、学校における体育・スポーツは教育委員会が、競技力の向上は競技団体が、トップスポーツの振興は企業やスポーツ団体が主として取り組んできました。

今後は、スポーツ振興を担う組織が分野の枠を超えて相互に連携・協働して取り組むとともに、人材の好循環を生み出す中で、個々の施策をできる限り相互に関連付けて一体的に展開し、相乗効果を高めます。

2 スポーツ振興審議会を通じた計画の実効性の確保

施策の検討・実施状況についてスポーツ振興審議会へ報告し、同審議会において課題や問題点のチェック等による計画の進捗よく状況の評価や改善方策の検討などを行うことにより、計画の実効性を確保します。